

## 2021 年日米オンラインフォーラム

2021 年 2 月 24 日（水）8:00－11:00（日本時間）

場所：Microsoft Teams を使ったオンライン会議

### 目的:

米国と日本が COVID-19 パンデミックに対応する高齢者及び非高齢者のための政策及びプログラムの議論等、エイジング・イン・プレイスの研究に関する最新情報を提供し、二国間協力を拡大することを目的とします。

### 概要:

2017 年 6 月、米国住宅都市開発省（HUD）、国土交通省（MLIT）及びUR都市機構（UR）との間で、研究協力の覚書（MOC）が署名されました。覚書に従い、HUD、MLIT 及びURは高齢化における住宅に関する政策課題を共有するために日米共同研究プロジェクトを発足しました。なお、当研究には当初ジニーメイとの金融研究の側面が含まれていましたが、これについては既に完了し、ジニーメイはこの共同研究に関与していません。

HUD、MLIT 及びURは現在、当共同研究の第2段階にあり、NORCs（自然発生的退職者コミュニティ）及びVillages、IWISH（集合住宅での高齢者サポート）の2つのトピックの2つのトピックに重点を置いています。HUDは4回のフォーラム（サンフランシスコ、ロサンゼルス、及びワシントンDCで2回）を主催し、日本側の研究団を招待しました。またMLIT 及びURは、3回のフォーラムを主催しています。フォーラムでは、公営住宅のほかNORCs/villageやその他の高齢者支援施設の現地訪問も行いました。これらのフォーラムを通じて、HUD、MLIT 及びURの研究者は、NORC/village、IWISHのトピックに関する4つのケーススタディを完了しました。

HUDは次回のオンサイトフォーラムを主催する予定です。当初は2020年10月に現地訪問を予定していましたが、COVID-19 パンデミックによりこの訪問は一時的に保留されています。

HUDは、次回のオンサイトフォーラムに向け二国間協力を継続する機会として、このオンライン会議を主催しています。オンラインフォーラムは、HUD、MLIT 及びURがエイジング・イン・プレイスの研究に関する最新情報を提供し、COVID-19 パンデミックに対応する高齢者及び非高齢者のための政策プログラムを含めた幅広い議論を展開するためのプラットフォームを提供します。

## 議題(会議全体の所要時間は3時間)

8:00 – 8:10：開会挨拶（14分）

- 米国側挨拶（5分） HUD カルヴァン・ジョンソン 次官補代理  
ベン・ウィンター 次官補代理
- 日本側挨拶（5分） 国土交通政策研究所 住本 靖 所長
- イントロダクション（4分） HUD シンディ・キャンベル 国際部長

8:10 – 9:10：日本側報告（60分）

- コミュニティベースでの高齢者支援
  - 箱の浦地区／舞地区（20分）
  - 南花台団地／男山団地（20分）  
国土交通政策研究所 研究官 石井義之
- コロナ禍でのコミュニティにおける活動事例－高齢者に限定せず幅広く（20分）  
国土交通政策研究所 研究官 石井義之

9:10 – 9:20：休憩（10分）

9:20 – 10:20：米国側報告（60分）

- IWISH 現状報告（15分）  
HUD プログラム評価部長 キャロル・スター
- 感染拡大下における高齢者へのアウトリーチ（15分）  
HUD 国際部長 シンディ・キャンベル
- 高齢者に限らず幅広い層を対象としたコロナ禍対応（30分）
  - CARES 法に基づく革新的な資金拠出例（15分）  
HUD 公営住宅支援サービス部長 ジェイミー・ブラウン  
HUD ハウジング・バウチャー・プログラム部長 スティーブ・ダーラム
  - ホームキープロジェクト：モーテルやホテルを住居に転用（15分）  
カリフォルニア住宅・コミュニティ開発部 副部長 ジェフリー・ロス

10:20 – 10:50：質疑応答（30分）

10:50 – 11:00：閉会挨拶（6分）

- 米国側挨拶（5分） HUD カルヴァン・ジョンソン 次官補代理
- 日本側挨拶（5分） 国土交通政策研究所 柳原 拓治 副所長